

子どもたちの未来のため、野田市は「子育て支援」に力を入れています

出産、乳幼児等へのサポート

- 紙おむつ用として「指定ごみ袋引換券」を追加支給
0～2歳児一人につき20リットル60枚分、3歳児一人につき20リットル30枚分を各年齢毎に追加支給しています。
- 助産師が訪問し育児サポート 《産後ケア事業・ベビママケア》
育児不安等を感じているご家庭に、助産師が訪問し心身のケアや育児サポートを行います。
- 新生児に「絵本のプレゼント」《ブックスタート事業》
絵本(2冊)等が入ったブックスタートパックをプレゼントしています。
- 中学3年生までは、「医療費自己負担0円」※近隣では野田市のみ 《子ども医療費助成事業》
中学3年生までの通院、入院、調剤の自己負担は、無料としています。
- 市独自の「あかちゃんお祝い金」と国の「妊婦のための支援給付金」
あかちゃんの誕生を祝い子育てを応援する市独自の「あかちゃんお祝い金」10万円を支給します。また、妊娠届出時と出産後に保健師等との面談後、5万円ずつ国の給付金を支給します。※令和7年度中に変更の可能性があります。

子育て環境の整備

- 新たな子育て施設の整備
0歳から18歳までの全ての児童が利用できる施設として、「のだしこども館 supported by kikkoman(児童センター)」を令和4年10月にオープンしました。
- 子育て支援拠点
仲間づくりや子育て相談など交流の場を支援センター、つどいの広場、子育てサロン、子ども館で実施しています。

保育所のサポートなど

- 「オムツの持ち帰りなし」全認可保育施設で実施
近隣市に先駆けて、オムツ持ち帰りを廃止しました。
- 保育所の給食は「安全、安心、おいしい」《野田産「黒酢米」を使用》
市内の保育施設で、野田産黒酢米を使用。また、野田産の野菜も献立を飾ります。
- 「育児相談いつでも可」《子育て支援担当保育士》
市内の全認可保育所に「子育て支援担当保育士」を配置しています。
園児の保護者や園庭開放などで訪れる保護者の育児の悩みに、経験豊富な保育士が相談に応じます。
- 休日保育(あたご、尾崎)や、休日預かり保育の充実(ゆうアンドみい、ゆっくつく)
休日保育は、休日に仕事などを行っている保育所利用者のために開設しています。休日預かり保育は、リフレッシュや急用で休日に子どもの面倒を見られなくなった保護者のため、開設しています。(保育所利用者以外も利用できます。)
- 野田市の保育所は「保育料が安い」
野田市は、国基準と比較して、大幅に保育料を安く設定しています。近隣市と比較しても安い保育料です。
保育料の比較(市町村民税121,000円未満世帯)
野田市 26,900円 国基準 44,500円(野田市との差 17,600円)
- 多子世帯は、保育料の軽減もある!
0～2歳の保育料について、保育所等を利用する児童が複数人いる場合、二人目半額、三人目以降0円としています。
- 「野田市で保育士・幼稚園教諭等になろう!」
・保育士の処遇改善等に力を入れ、保育士不足による待機児童の解消を目指しています。
・幼稚園教諭にも支援が充実しています。

小・中学生のサポートなど

《施設関係》

- 全普通教室に「エアコン設置済み」
児童・生徒は、快適な学習環境で授業を受けています。
- 全学童保育所「待機児童0」
学童保育所利用希望者は、全員ご利用いただけます。
なお、過密化が予想される場合には、利用希望者に抽選を行っています。
- 「校舎の耐震化率100%」
平成27年度までに、全ての公立学校の耐震化事業を完了しました。
- 子ども未来教室(学習支援)
市の小学3年生と中学生の基礎学力の向上や学習習慣の定着のため、学習のサポートをしています。

《ソフト関係》

- ICTの充実「タブレット端末の貸与」 児童・生徒全員にタブレット端末を配布し、オンライン授業等に対応します。